



# 「設計風速の現状と展望」

## 【主旨】

耐風設計で想定する風速（設計風速）は，建設地点で想定される再現期間 100 年～500 年の風ですが，台風や季節風など様々な気象要因に基づく自然現象であり，設計時に扱う諸量の中でも不確定性が大きい値の一つです。本研究集会では，耐風設計の設定に際して検討すべき風に関する様々な性質と問題点，将来への展望を議論したいと考えております。

関心のある方のご参加をお願い申し上げます。

中村 修（風工学研究所）

開催日時：2014 年 3 月 1 日（土） 13：30～17：00

開催場所：東京工芸大学 中野キャンパス芸術情報館 3 階 大会議室

参加申込：事前登録制：wejurc+140301p@gmail.com に，ご氏名，ご所属，連絡先をお送りください。その他，お問い合わせは，東京工芸大学 風工学研究拠点 事務局 TEL：046-242-9658 までお願いいたします。

## プログラム

- |             |   |                 |
|-------------|---|-----------------|
| 13:30～13:40 | 主旨説明                                    | 中村 修（風工学研究所）    |
| 13:40～14:10 | 台風シミュレーションと気象モデルを利用した<br>極値風速予測とその信頼性評価 | 石原 孟（東京大学大学院）   |
| 14:10～14:40 | 被海面温度を考慮した台風シミュレーションによる<br>強風予測         | 勝地 弘（横浜国立大学大学院） |
| 14:40～15:10 | 送電用鉄塔の設計風速に関する現状と課題                     | 石川智巳（電力中央研究所）   |
| 休憩（20分）     |   |                 |
| 15:30～16:00 | 台風シミュレーションモデルの性能評価                      | 西嶋一欽（京都大学防災研究所） |
| 16:00～16:30 | 年最大風速の地域区分に関する検討                        | 松井正宏（東京工芸大学）    |
| 16:30～16:50 | 総合討議                                    |                 |
| 16:50～17:00 | まとめ                                     |                 |